

靖國神社と聖戦史観 —A級戦犯こそ靖國にふさわしい

内田雅敏 = 著

靖國神社問題の核心は政教分離より歴史認識と戦死者の「魂独占」の虚構である！
死者の魂鎮めを一宗教法人に委ねていいのか！
全ての戦没者の為に無宗教の国立追悼施設を！



（本文より）
巷間、中国、韓国からの靖國神社参拝批判に対して、戦没者に対する追悼はどの国でもやっている、何故それが批判されるのか、と反論がなされることとあります。毎年8月15日、武道館で政府主催による戦没者追悼式が行われていますが、この追悼式を中国、韓国らが批判することはありません。それはどこの国でも行っているからです。靖國神社参拝批判は、戦没者に対する追悼批判ではなく、靖國神社という場でそれが行われることへの批判なのです。
巷間、靖國神社にA級戦犯を合祀したから中国、韓国から批判される、この際、A級戦犯の方々に余所に移ってもらおうという、いわゆるA級戦犯分祀論も唱えられます。A級戦犯を分祀すれば問題の解決となるのでしょうか。否です。解決とはなりません。それは、靖國神社がA級戦犯を合祀していることが問題ではなく、靖國神社がA級戦犯合祀に象徴される「聖戦史観」に依って立つ戦争神社であるからです。

この本は戦後の平和護憲運動の欠落を埋める紙譜であり、紙碑である！

目次

はじめに

第1部 靖國神社とは

- 第1章 靖國神社の創建
- 第2章 「聖戦史観」に拠る靖國神社
- 第3章 靖國神社の宮司辞任騒動が明らかにした戦死者の「魂独占」の虚構
- 第4章 遊就館の展示
- 第5章 靖國神社を支えた援護行政
- 第6章 靖國神社と昭和天皇の参拝

第2部 歴代日本政府の歴史認識と靖國神社

- 第1章 歴代日本政府の歴史認識と真逆な靖國神社の「聖戦史観」
- 第2章 三木、中曽根、小泉、安倍、菅首相らの靖國神社参拝、供物の奉納
- 第3章 靖國神社参拝についての中国、韓国の怒り
- 第4章 靖國神社参拝に欧米からの批判
- 第5章 靖國神社の「聖戦史観」と重なる安倍史観
- 第6章 東京裁判とA級戦犯の合祀
- 第7章 A級戦犯分祀論の不毛

第3部 靖國問題の解消に向けて

- 第1章 特攻記念館で涙を流すだけでよいのでしょうか
- 第2章 遺族の死者への想いに依拠して生き延びた靖國神社
- 第3章 「靖國問題」を克服できない戦後市民革命の欠如
- 第4章 死者たちの声に耳を傾ける国立追悼施設を
- 補章 違憲判決を「自らの責務」と考えた裁判長—福岡地裁「靖國」違憲判決遺骨の混じる土砂を米軍新基地建設用地埋め立てに使うな

あとがき

著者略歴 内田雅敏 (うちだ・まさとし)

1945年愛知県生まれ。75年東京弁護士会登録。
日弁連人権委員、同接見交通権確立実行委員会委員長、関東弁護士会連合会憲法問題協議会委員長を経て、現在日弁連憲法委員会幹事。
弁護士として通常業務のほかに強制連行・強制労働、靖國等の歴史問題に取り組む。中国人強制労働花岡事件(鹿島建設)、同西松建設事件、同三菱マテリアル事件等の和解に関与した。
著書に『元徴用工和解への道』(ちくま新書)、『和解は可能か』(岩波ブックレット)、『靖國参拝の何が問題か』(平凡社新書)、『戦後補償を考える』(講談社現代新書)、『「平和資源」としての日中共同声明』(スペース伽耶)、『戦後が若かった頃に思いを馳せよう』(三一書房)、『想像力と複眼的思考』(スペース伽耶)、『乗っ取り弁護士』(ちくま文庫)等。
共著に『在日からの手紙』姜尚中共著(太田出版)、『憲法9条と専守防衛』箕輪登共著(梨の木舎)他。

書店番線	発行:藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546	
月日	<h1>靖國神社と聖戦史観</h1> <p>—A級戦犯こそ靖國にふさわしい</p> <p>定価990円(税込) ISBN 978-4-86538-125-2 C0295 ¥900E</p>	内田雅敏 = 著
冊		2021年10月8日 第1刷発行 発行 藤田印刷エクセレントブックス 判型 新書判(312頁) 定価 990円(税込) 印刷・製本 藤田印刷株式会社

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで